

2018年2月22日

たねと食とひと@フォーラム
共同代表 吉森 弘子様
共同代表 高橋 広一様

アサヒグループ食品株式会社
品質保証部
東京都渋谷区恵比寿 2-4-1

FAX 送信のご案内

謹啓

貴下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、弊社製品に関するお問い合わせをいただきました件につきまして、
別紙のとおり回答申し上げます。

ご査収のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

— 記 —

別紙

1枚

以上

2018年2月22日

たねと食とひと@フォーラム 御中

アサヒグループ食品株式会社
品質保証部

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

1月22日付けで貴団体からいただいた公開質問の内容について、以下のとおり回答いたします。

今後も製品の製造に関して、努力して参る所存でございますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

記

質問① 弊社製品原材料の種類と遺伝子組み換えの分別状況について

コーンフレーク、グラノラ(シリアルパフ)、ドライパイヤ、大豆加工品は、非遺伝子組み換えの原料を使用しています。

ショートニング、V.E、乳化剤、酸化防止剤(V.E)は原料を安定供給するため、起原原料に対して、非遺伝子組み換えの指定はしていません。これらの原料は、製造工程で高度に精製され、遺伝子組み換えDNAやこれにより生じたたんぱく質が除去・分解されていると判断できるため、遺伝子組み換えに関する表示も不要とされています。

質問② 産地農場から輸出港、弊社製造工場までの原材料の管理・輸送方法について
非遺伝子組み換え原料については、原材料メーカーにて分別流通管理を行っています。

質問③ 遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えでないものに変更する予定について

原材料の調達状況等も踏まえ、判断してまいります。

質問④ 不分別のものに切り替える予定について

原材料の調達状況等を踏まえ、判断してまいります。

質問⑤ 遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給するための課題について

遺伝子組み換えでない原材料の安定調達が大きな課題だと考えます。
尚、国が使用を認めた遺伝子組み換え品については、安全性には問題ないと考えております。

以上